十五編下

源氏
胡蝶
十五編上

源氏
胡蝶
のまき
十五編上

宝町原氏胡蝶

巻柳亭種彦

仇梅陳摩画

十五巻上

明治文庫

古き小唄の囃語にてふ〳〵きぐうふはこれこそやまさよ〳〵と云ふ義いろゆふ
女の図ふふ芸人もせで頼面めい抑何のきっとん得〳〵が僕代〳〵甚三郎を
説けく〳〵蝶々の簪を髪下おどふ挿こむも急ぐ鬢ひひ悪らんよう
かく〳〵念を入る語蝶の止る葦をゑくう蝶掻頭い鯉賣ゆる他あると博識
めして演舌〳〵小娘を合點せさせろ餘り浦〳〵考るとゝ無益の嫌疑らる
なのゝまて番ゝと遊牝と混ゆ〳〵て錺鉸さく猥語のやうふ憚る人もあり
しこそ百人一首のさせ文ゝ歌骨牌の時風るゝ〳〵し草冊子い親子の中でる
讀るゝ鳥ゝさせとゝふふ余いせさせと雅言を那人と濡場ゝゝ〳〵愛形ゝ
ゝとかの鈔の墮落筋元美〳〵る支話もこれを竟ゝ本文の蝶々徐よ
寛〳〵と長物話を御心ゝ〳〵ゝ賢ぜさせてゝ人〳〵

慶應四年新春刊行

柳亭種彦

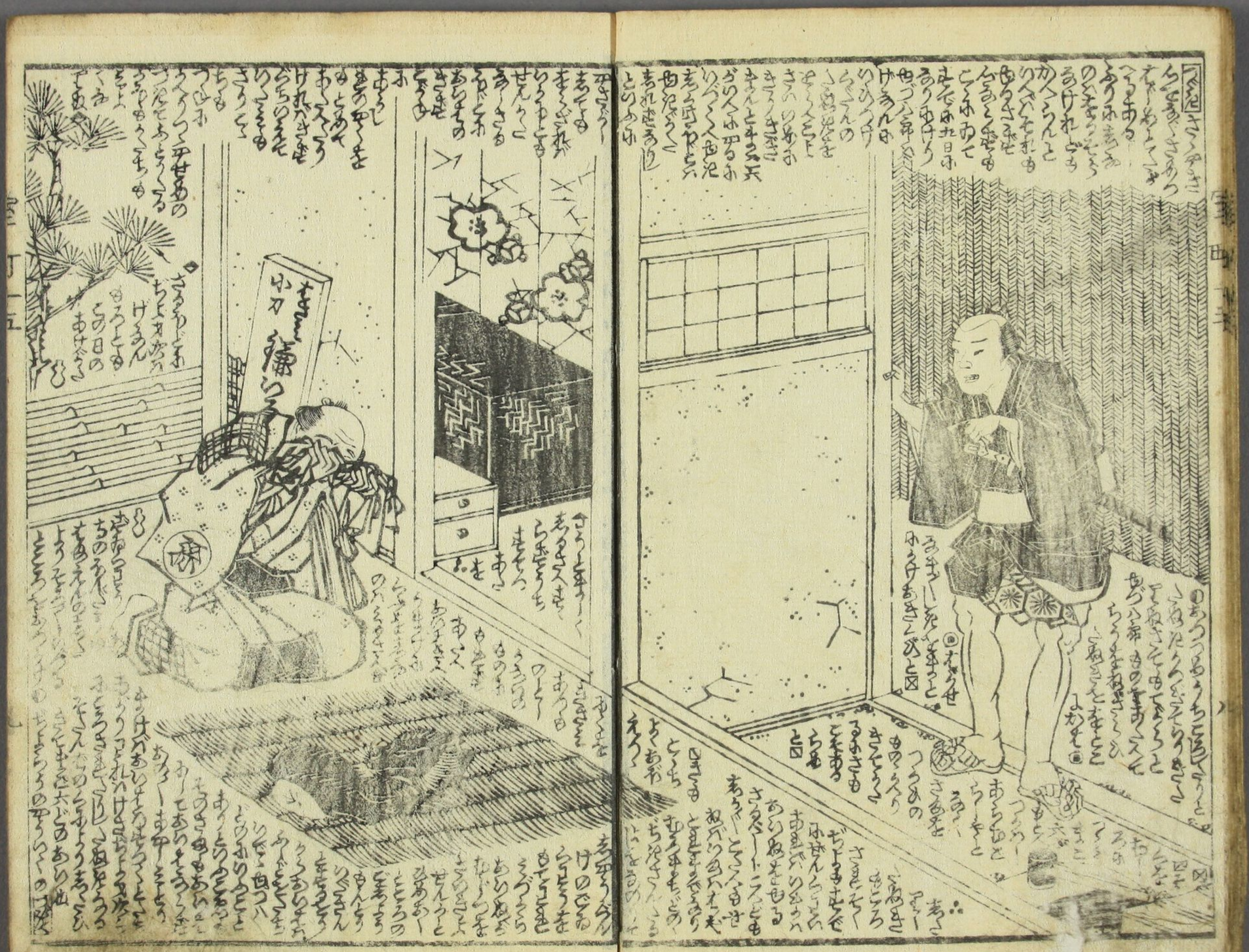
正月十四日御手の中見
燕麥尼
綱牽香盤
立物の

大繩を
流芳子の軒の
舞妓
瓔珞
圖

大
女

岩石
柚

二
信



種彦作國貞画

本家
實母散

中橋南傳馬町一丁目東さき
薬舗製

鼠祠通夜譚　四編　八編
出板仕
柳亭種彦作
梅蝶樓國貞画

厚化粧萬年嶋田
初篇より　追々出板
春水作
梅蝶樓國貞画

這ハ世ハ音く沙汰せうが、姐己阿百が傳ハ、是ハ和尚奥の悪
貴縁芦田の家ハ仇敵ん、こまを愛ハ忠臣孝女ありて凛ゞ妻手ハ
あとこゝろ表まで花やう形る宜く理の性こう草奴紙ふえ

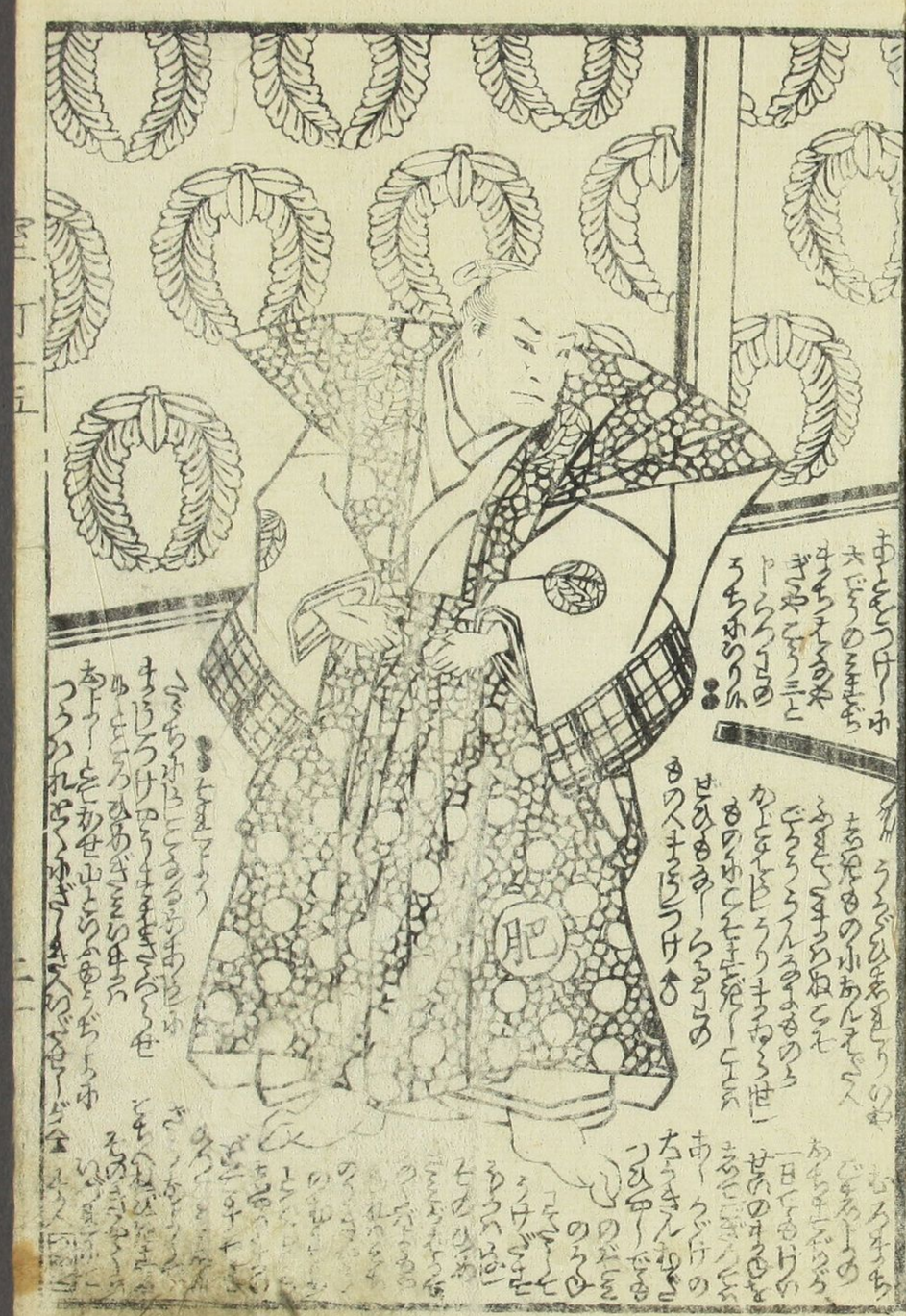
十五編下

小ふ乃
あ二年
ま き
十五
丙
東
国

昭和文庫

舟

鹿
蝶



明治二年巳巳陽春開板標目

新局九尾傳 七編 十一編 爲永春水作 梅蝶樓國貞画

室町源氏胡蝶卷 十二編 十四編 十五編 種彦作 國貞画

假名情談戀畦倉 四編 四泉作 大尾 國貞画

重謡妙き車 廿二編 廿三編 廿四編 種彦作 國貞画

薄化粧幻日記 十七編 十八編 十九編 春水作 國貞画

七姿き菖蒲譚 一編 二編 三編 種彦作 國貞画

筆法四國聞書 一編 二編 種彦作 國貞画

明鴉墨画廼福禍 一編 四編 五編 種彦作 國貞画

花封茶口玉章 一編 柳亭作 大尾 國貞画

犬傳犬の双紙 四十編 五十編 五十一編 柳亭錄 國貞画

南傳馬町壹丁目 鶴屋士口藏板